平成21年度

大雪･富良野ルート活動報告

１．ルート運営活動計画の進捗状況
２．活動団体の活動状況及び課題
３．ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
４．ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
５．平成20年度活動報告への助言に対する状況報告

1．ルート運営活動計画に関する地域の報告

（2）地域活動に関する報告（大雪・富良野ルート）

ルート名称：大雪・富良野ルート	報告者：　代表　山崎 博幸	報告年月：平成22年4月7日

種類	方針	方策	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
景観づくり	大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ	北海道らしい雄大な景観を美しく見せる	1	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽：4月25日（土） 旭川空港周辺：4月26日（日） 上富良野町：5月10日（日）	約200人	T － 1	毎年、実施している取り組みを継続して行うことが出来ており、継続的に行うことで参加者の増加や意識づくりが進んできている。 具体の取り組みを通して、景観の重要性を認識することが出来、参加者には意識の醸成が図れている。
		大雪山・十勝岳連峰への眺望性を高めるために、阻害要因の除去や道路施設の整備を行う	1	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽：4月25日（土） 旭川空港周辺：4月26日（日） 上富良野町：5月10日（日）	約200人	T － 1	
		ビューポイントを整備して大雪山・十勝岳連峰の眺めを楽しめるようにする							
		大雪山・十勝岳連峰への眺望性を確保するためのルールの整備を進める	2	情報拠点の看板に関する検討会を開催	大雪・景観倶楽部	7月21日・2月15日	10名	T － 4	
	波状丘陵地の田園景観を保全する	田園景観保全のための仕組みを観光と関連を持たせながら検討する	3	各種オーナー性の実施	赤麦の会、深山峠観光開発振興会、かみふらの十勝岳観光協会	通年			新たな活動については、不足しているところもあるが、景観の保全については、活動の継続により保全も継続的に行われることが理想的であると言える。ラベンダーや赤麦、じゃがいもなど畑の耕作・収穫を複数で出資するオーナー制が、各地で取り組みが継続して行われていることは、重要であると考える。また、西神楽の情報拠点の農業者として、直売所・カフェ機能を充実させ、新たな取り組みとする方向性が生まれている。
		田園景観を保全するためのルールなどの検討を行う							
		田園景観を整えるためにさまざまな農業施設を景観にも配慮されるようにする	★4	情報拠点・直売所シャングリラパークを「農村カフェMuu」として、リニューアル	西神楽　夢民村	3月上旬～改装 3月20日　リニューアルプレオープン	―	T － 4	
	花人街道としての景観を整える	地域の原風景としての景観を保全するための研究を行う							花人街道としての景観を創出させるためには、「花人街道」と呼ばれる特徴でもある「花」の充実が重要であり、これについては毎年、継続して実施している。 花以外にも、花人街道としての景観を形成する要素は様々あり、今年度は道路付属施設に注目して、道路行政とともに現地調査を実施することが出来た。
		沿道の関係地域全体で花による沿道景観の演出を行う	5	花の植栽活動	NPO法人グラウンドワーク西神楽、東川町花倶楽部、深山峠観光開発振興会、上富良野町商工会	5月～6月	300名	T － 2	
		花人街道として田園部、市街地を含めた景観形成の方針を検討する	6	道路付属施設の現地調査に協力	主催：旭川開発建設部 参加：運営委員会	12月・3月	協力：3名		
		沿道の景観阻害要因に対しての修景計画の策定を行う	6	道路付属施設の現地調査に協力	主催：旭川開発建設部 参加：運営委員会	12月・3月	協力：3名		
		森林景観を保全するための活動計画の策定を行う							
地域づくり	活力ある地域づくり	ルート全体の情報共有化と連携の強化を図る	7	情報拠点の運営	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会、富良野エコミュージアム	5月～11月 （一部通年）	―	T － 4	地域の活力向上として、各地で様々な取り組みを展開することが出来ている。しかし、一部の連携にとどまっている活動も多く、地域をより元気にするためには、多様な連携が重要となってきている。そのために、地域での検討をすすめ、ルートとして取り組むべき活動等を明確にし、効果的な地域活力向上を目指すことが次のステップとして求められている。
		地域の情報発信力を強化し、情報媒体の多彩化を図る	8	情報拠点にてバリアフリーマップの配布	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会、富良野エコミュージアム	5月～11月 （一部通年）	ルート内情報拠点4箇所、上川道の駅約10箇所		
		地域住民参加への活動を強化する	1	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽：4月25日（土） 旭川空港周辺：4月26日（日） 上富良野町：5月10日（日）	約200人	T － 1	

種類	方針	方策	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
地域づくり	活力ある地域づくり	地域住民参加への活動を強化する	9	情報拠点での地域情報発信	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会、富良野エコミュージアム	5月～11月 （一部通年）	―	T － 4	地域の活力向上として、各地で様々な取り組みを展開することが出来ている。しかし、一部の連携にとどまっている活動も多く、地域をより元気にするためには、多様な連携が重要となってきている。そのために、地域での検討をすすめ、ルートとして取り組むべき活動等を明確にし、効果的な地域活力向上を目指すことが次のステップとして求められている。
			10	全道フォトコンテストパネル展示	大雪・富良野ルート	旭川花フェスタ：6月10日～14日 東神楽：6月20日～7月5日 旭川合同庁舎：7月30日～8月7日	全3箇所		
			11	冬期集住・二地域居住事業の実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	通年	二地域居住：4名 冬期集住：8名	T － 6	
			12	ウィンターサーカスの開催	ウィンターサーカス実行委員会	2月6日～7日	約2,100人	T － 5	
	コリドーとしての連携や参加意識の醸成	シーニックの活動に対する地域連携意識を醸成する	1	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽：4月25日（土） 旭川空港周辺： 4月26日（日） 上富良野町：5月10日（日）	約200人	T － 1	地域の方が広く参加する「ゴミゼロ」や「ふらのびえい人になるキャンペーン」を通して、地域の方の参加意識を醸成すること出来ている。また、地域以外の観光客や他地域住民においては、フォトコンテストなどのパネル展を実施することで、ルートの魅力をわかりやすく伝えることができ、ルートへの参加意識・連携意識も醸成することが出来ている。
			10	全道フォトコンテストパネル展示	大雪・富良野ルート	旭川花フェスタ：6月10日～14日 東神楽：6月20日～7月5日 旭川合同庁舎：7月30日～8月7日	全3箇所		
		各種キャンペーンの立案によって参加意識を高める	1	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽：4月25日（土） 旭川空港周辺： 4月26日（日） 上富良野町：5月10日（日）	約200人	T － 1	
			13	ふらの・びえい人になるキャンペーン	冬の美瑛：・富良野の観光を考える実行委員会	2月中	1ヶ月間		
	農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	安全な地域農産物の魅力を情報として発信する	14	西神楽と上富良野の情報拠点にて、地域農産物を販売	西神楽夢民村、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月		T － 4	農業と観光の連携による地域づくりは、農業団体が平成１８年より参加したことで、より具体的な取り組みを展開することが出来ている。次年度より、農業団体が中心となり西神楽の情報拠点をリニューアルオープンし、地域の農産物と観光を繋ぐ取り組みを充実させる予定ある。また、今年度はセミナーを開催し、農業活性化に関する取り組みを推進している、結城先生より、参考になる事例を学ぶことが出来た。農業団体「夢民村」では、自身の農地を都市部住民に貸し出し、野菜づくりサポートする農地オーナーの取り組みを試験的実施で行った。 観光業と農業との連携は充実してきているが、商業についてはまだ不足しているところがあり、今後連携の充実を図る。
			★１５	農村地域活性化セミナーの開催	西神楽夢民村、NPO法人グラウンドワーク西神楽、西神楽地域振興協議会	11月23日	約100人	T － 3	
		農業体験観光を通して地域の魅力を紹介する	16	休耕地を活用した農地オーナーの試験実施	西神楽　夢民村	8月上旬～10月	約5名		
		地域の様々な分野の業界と資源を活用し総合力を高める	1	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽：4月25日（土） 旭川空港周辺： 4月26日（日） 上富良野町：5月10日（日）	約200人	T － 1	
			11	冬期集住・二地域居住事業の実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	通年	二地域居住：4名 冬期集住：8名	T － 6	
			17	上富良野産の農産畜産物をつかった加工品・商品の検討	237花倶楽部	通年	―		
		多面的で魅力のあるルートの開発と紹介を行う	11	冬期集住・二地域居住事業の実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	通年	二地域居住：4名 冬期集住：8名	T － 6	
			12	ウィンターサーカスの開催	ウィンターサーカス実行委員会	2月6日～7日	約2,100人	T － 5	

種類	方針	方策	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
地域づくり	地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進	大雪山・十勝岳連峰の原生林や貴重な野生生物遺産の保全・保護と監視を進める	18	旭岳の管理	大雪山自然学校（NPO法人ねおす）	5月～11月	―		地域の自然や文化の保全に関する取り組みは、一部の活動団体の取り組みが大半であり、ルート全体として一体となった取り組みへの展開は、まだまだ不足している。 世界全体としても、地球環境の保全が話題となっており、ルートとしても地域で出来る自然や文化の保全・活用を推進する。
		自然の保全・保護に関する情報発信や啓蒙活動を行うとともに学術調査研究に協力する							
		歴史的建造物等の地域の歴史文化遺産、北海道遺産などの利活用を図る							
		地域の自然・文化・歴史を活用した教育プログラムを推進する	19	子供向けの自然教室を実施	大雪山自然学校（NPO法人ねおす）	通年	―		
			20	ウィンターサーカスと連携した雪の授業を開催	ウィンターサーカス実行委員会	西神楽：1月25日 上富良野：2月6日	約40名	T － 5	
	ユニバーサルデザインの推進	シーニック活動団体、行政などへのユニバーサルデザインの提案を行う							情報拠点にてユニバーサルデザインの「ユニカップ」の販売・PRを実施するとともに、北西の丘の情報拠点では、内部の写真展示自体がユニバーサルデザインに配慮されている。今後は、外国人旅行者も利用しやすいユニバーサルデザインを考える必要がある。
		地域におけるユニバーサルデザインの啓蒙活動を行う	21	ユニバーサルデザインを取り入れた情報拠点の設営・運営	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター	5月～11月	―	T － 4	
観光振興	田園型リラクゼーション観光の充実	田園型リラクゼーション観光を充実させる	12	ウィンターサーカスの開催	ウィンターサーカス実行委員会	2月6日～7日	約2,100人	T － 5	新たな冬期観光活性化「ウィンターサーカス」を開催し、今年度で5回目となった。毎年、開催会場が増加するにつれ、参加者も増加し、観光の充実が図れている。また、情報拠点も定着しつつあり、利用者も増加傾向にある。
		もてなしのシーニックバイウェイを充実させる	7	情報拠点の運営	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会、富良野エコミュージアム	5月～11月 （一部通年）		T － 4	
	農業と連携した観光のしくみづくり	来訪者と農業生産者をつなぐしくみを検討する	14	西神楽と上富良野の情報拠点にて、地域農産物を販売	西神楽夢民村、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月		T － 4	農業と連携した観光の仕組みとしては、情報拠点を中心にした取り組みが主である。特に西神楽での取り組みが活発であり、今年度は地域の情報拠点兼地域スーパーとしての可能性を把握するアンケート調査を実施。３月にリニューアルプレオープンし、次年度から本格的に情報拠点・直売所・カフェとしての機能を充実させることとなっている。 地域は良質な農産物がたくさん生産できることもあり、地域の特産品開発については、上富良野で実施している。 ラベンダーや赤麦、じゃがいもなど畑の耕作・収穫を複数で出資するオーナー制について各地で取り組みが継続して行われており、地域農業と観光をつなぐ取り組みとなっている。
			★15	農村地域活性化セミナーの開催	西神楽夢民村、NPO法人グラウンドワーク西神楽、西神楽地域振興協議会	11月23日	約100人	T － 3	
		地域の農産物の新たな流通ルートを検討する	14	西神楽と上富良野の情報拠点にて、地域農産物を販売	西神楽夢民村、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月		T － 4	
		ルートのコミュニティビジネスを興すための検討を進める	7	情報拠点の運営	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会、富良野エコミュージアム	5月～11月 （一部通年）		T － 4	
			11	冬期集住・二地域居住事業の実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	通年	二地域居住：4名 冬期集住：8名	T － 6	
			3	各種オーナー性の実施	赤麦の会、深山峠観光開発振興会、かみふらの十勝岳観光協会	通年			
	シーニック・ランドオペレーション機能の充実	シーニックバイウェイの情報網と発信機能を充実させる	7	情報拠点の運営	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会、富良野エコミュージアム	5月～11月 （一部通年）		T － 4	ルート運営を担っている中間法人が、中間法人法の廃止に伴い、一般社団法人に名称変更した。名称変更を行うために、役員で会議を開催し、今後のルート法人のあり方、ルートのあり方を検討し、ルート自立に向かっての確認を行った。
		シーニック情報中枢機能を充実させる	★22	中間法人廃止に伴い、ルート法人を一般社団法人とした。	一般社団法人大雪・富良野ルートサポートセンター	10月～12月			

大雪･富良野ルート

T-1

TAISETSU-FURANO ROUTE

沿道の清掃活動　ゴミゼロキャンペーンの開催

【概　要】平成１７年度「集中活動月間」の活動としてはじまった「ゴミゼロキャンペーン」は、沿道の清掃活動を広域で連携して実施する活動。平成２１年度で５回目の開催。毎年、４月下旬から５月３０日までをキャンペーン期間として、旭川や上富良野で関係行政とも連携し、清掃活動を実施している。毎年約２００人以上が関わっている。

【日　時】西神楽：4月25日（土）10:00～12:00　旭川空港周辺：4月26日（日）10:00～12:00
上富良野町：5月10日（日）10:00～12:00

【場　所】西神楽・旭川空港周辺・上富良野町

【主　催】シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート

【参加人数】西神楽 (約６０人)、旭川空港周辺(約４０人)、上富良野会場(約１００人)

大雪･富良野ルート

T-2

TAISETSU-FURANO ROUTE

花の植栽活動

【概　要】ルートの沿道を花で彩るために、各地で沿道の植栽活動を実施。旭川空港線の花植栽は、平成１９年から旭川土木現業所とＮＰＯ法人グラウンドワーク西神楽が連携。ラベンダーの苗の植え替えは、平成２１年度で完了。

【日　時】５月～６月

【主　催】NPO法人グラウンドワーク西神楽、東川町花倶楽部、深山峠観光開発振興会、上富良野町商工会

【参加人数】旭川空港線(約６０人)、東川町(約１５０人)、上富良野町(約９０人)

大雪･富良野ルート

T-3

TAISETSU-FURANO ROUTE

農業セミナーの開催

【概　要】農業がつくりだす景観が観光資源となっている大雪・富良野ルートで、今後の農業を考えるために、農村地域活性化セミナーを開催。地元学を提唱している結城登美雄先生を招き、危機的な状況に直面している農業と地域について講演頂いた。

【日　時】平成２１年１１月２３日（月・祝）　１４：００～１７：４５

【場　所】西神楽農業構造改善センター

【主　催】西神楽夢民村

【共　催】NPO法人グラウンドワーク西神楽、西神楽地域振興協議会

【協　力】一般社団法人　大雪・富良野ルートサポートセンター

【参加人数】約１００名

大雪･富良野ルート

T-4

TAISETSU-FURANO ROUTE

情報拠点の運営

【概　要】ルートの情報発信（地元おすすめ情報など）を目的として、西神楽・美瑛・上富良野・富良野の全４箇所にシーニック情報拠点を開設。各地では、大雪・富良野ルート内のパンフレット等の配布のほか、地元の農産品のPRなどそれぞれ特徴的なサービスやビジネスを展開。西神楽の情報拠点では、地元農産物（夢民村）の直売を行っており、平成19年は約220万円を売り上げ、平成２１年は地元住民にも支えられ約４７０万円を売り上げることが出来た。情報拠点のコミュニティビジネスとしても、可能性が見えてきている。

【日　時】平成２１年5月～11月

【場　所】西神楽・美瑛・上富良野・富良野

【主　催】西神楽：夢民村、美瑛：循環型社会立案サポートセンター、上富良野：かみふらの十勝岳観光協会、富良野：富良野エコミュージアム

大雪･富良野ルート

TAISETSU-FURANO ROUTE

ウィンターサーカスの開催

【概　要】第５回目となる雪のアートプロジェクト「ウィンターサーカス」を開催。　今回は占冠村と連携し、ルート内５会場・高速道路会場１会場で開催。各会場では温かい飲食の提供を行い、旭川発着の無料バスツアーや雪の授業(旭川市・上富良野町)の開催も連携して実施した。

【日　時】イベント：平成２２年2月６日（土）、７日（日）　17:00～20:00

雪の授業：１月２５日(月)-西神楽聖和小学校、２月６日(土)-上富良野町児童館

【会　場】旭川市西神楽　美瑛町雪遊び広場　上富良野町深山峠・見晴台公園

占冠村アルファリゾートトマム　道央自動車道砂川SA

【主　催】シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート ウィンターサーカス実行委員会

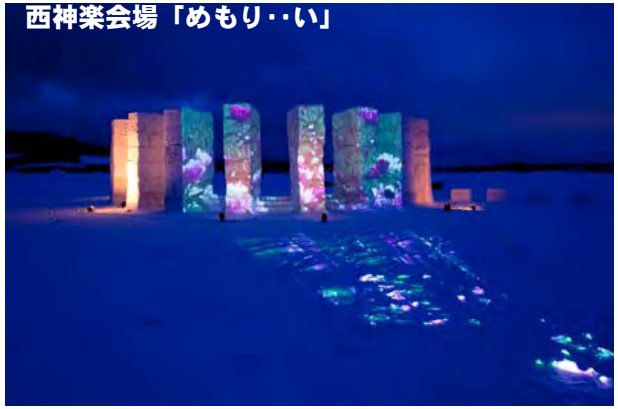
【共　催】東日本高速道路株式会社(NEXCO東日本)、(社)北海道開発技術センター

【後　援】北海道開発局旭川開発建設部　大雪・富良野ルート運営行政連絡会議

(社)シーニックバイウェイ支援センター

【参加人数】４会場計　約２，１００人（トマム会場除く）　バスツアー参加者(８０人/2日間)

※ウィンターサーカスは企業からの協賛と北海道地域政策補助金にて実施


西神楽会場「めもり･･い」

深山峠会場「雪芽～Setsuga～」

見晴台公園会場「FLOWER+」

大雪･富良野ルート

T-6

TAISETSU-FURANO ROUTE

冬期集住・二地域居住　事業

【概　要】西神楽にて観光旅行者の長期滞在を支援し、冬期には地域の高齢者が集まって済む「冬期集住・二地域居住」事業を実施。今年の取り組みで２年目となり、夏期には観光旅行者の試験的滞在、冬期には地域高齢者の長期滞在を実施した。昨年度より、多くのメディアに取り上げられ、様々な地域や団体が視察に訪れており、全国的にも先進的な事例として認知度が高い。西神楽以外の地域からも、集住施設に関する依頼があり、広がりを見せている。

【場　所】旭川市西神楽

【主　催】ＮＰＯ法人グラウンドワーク西神楽

【参加人数】夏期滞在　４名、冬期集住　８名

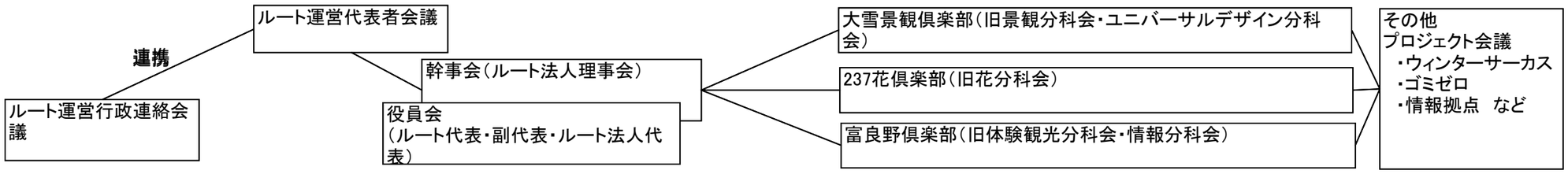
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称：大雪・富良野ルート	報告者：代表　代表　山崎 博幸	報告年月：平成22年4月7日

活動団体

NPO法人グラウンドワーク西神楽／NPO法人ネイティブクラーク／NPO法人循環型社会立案サポートセンター／深山峠観光開発振興会／上富良野町商工会商業部会／NPO法人グリーンステージ／(社)かみふらの十勝岳観光協会／(社)フラワーランドかみふらの／かなやま湖の森2212／富良野エコミュージアム／(有)インターネット富良野／北のロマンスバイウェイ／東川花倶楽部／(社)旭川観光協会／(株)ラジオふらの／旭川都市田園会議／後藤純男美術館／大雪自然学校（NPO法人ねおす）／西神楽　夢民村　全19団体

ルート運営体制（活動団体）



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議								● 11/18					ルート法人がルートの運営を担っており、ウィンターサーカスなど、ルート活動費の捻出を行っている。しかし、活動計画の推進・活動の継続については、今後も費用を含め課題がある。各地域の会議については、開催状況に差があり、代表者会議についても、開催回数が多いとは言えない。協議の場を増やすように、運営を行う。
	役員会						● 9／17							
	運営委員会						● 9／17							
	大雪景観倶楽部				● 7／21							●2／15		
	237花倶楽部	● 4／28								● 12／22				
	富良野倶楽部													
	その他 ●ｳｨﾝﾀｰｻｰｶｽ　会議							ｳｨﾝﾀｰｻｰｶｽ 会議● 10／17		ｳｨﾝﾀｰｻｰｶｽ 会議● 12／22	ｳｨﾝﾀｰｻｰｶｽ 会議● 1／25			

ルート名称：大雪・富良野ルート	報告者：旭川開発建設部	報告年月：平成22年4月7日

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	行政連絡会議の実施						● 9／30							

4．ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称：大雪・富良野ルート	報告者：旭川開発建設部	報告年月：平成22年4月7日

種類	方針	平成21年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観づくり	大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ	道路付属物の集約・配置替え	旭川市神楽岡：9～10月	旭川開発建設部旭川道路事務所	ルート内の景観に配慮し、付属物・標識の集約、設置数の改善を実施。今後も継続した検討と実施が必要。	道路行政として実施できる取り組み、関係機関との協働で行う取り組みなどを整理し、活動を推進する。また、代表者会議との情報共有・連携強化を推進する。	1
		道路付属物の集約・配置替え	旭川市西神楽：9～10月	旭川開発建設部旭川道路事務所	ルート内の景観に配慮し、付属物・標識の集約、設置数の改善を実施。今後も継続した検討と実施が必要。		2
		道路付属物の集約・配置替え	美瑛町宇莫別：9～10月	旭川開発建設部旭川道路事務所	ルート内の景観に配慮し、付属物・標識の集約、設置数の改善を実施。今後も継続した検討と実施が必要。		3
		道路付属物の集約・配置替え	美瑛町大久保：9～10月	旭川開発建設部旭川道路事務所	ルート内の景観に配慮し、付属物・標識の集約、設置数の改善を実施。今後も継続した検討と実施が必要。		4
		道路付属物の集約・配置替え	美瑛町大町：9～10月	旭川開発建設部旭川道路事務所	ルート内の景観に配慮し、付属物・標識の集約、設置数の改善を実施。今後も継続した検討と実施が必要。		5
		道路付属物の集約・配置替え	美瑛町美馬牛：9～10月	旭川開発建設部旭川道路事務所	ルート内の景観に配慮し、付属物・標識の集約、設置数の改善を実施。今後も継続した検討と実施が必要。		6
		道路付属物の小型化・デザイン統一	美瑛町宇莫別：9～10月	旭川開発建設部旭川道路事務所	ルート内の景観に配慮した、標識の小型化、設置数の改善、デザイン、色の統一を実施。今後も継続した検討と実施が必要。		7
		道路付属物の小型化・デザイン統一	美瑛町美馬牛：9～10月	旭川開発建設部旭川道路事務所	ルート内の景観に配慮した、標識の小型化、設置数の改善、デザイン、色の統一を実施。今後も継続した検討と実施が必要。		8
		草刈・樹木の剪定・間引き・枝払い	旭川市西神楽：10～12月	旭川開発建設部旭川道路事務所	除草・自然木の剪定・枝払いにより、良好な沿道環境を形成する事ができた。今後も継続した実施と実施箇所の検討が必要。		9

種類	方針	平成21年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観づくり	大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ	草刈・樹木の剪定・間引き・枝払い	美瑛町宇莫別：10～12月	旭川開発建設部旭川道路事務所	除草・自然木の剪定・枝払いにより、良好な沿道環境を形成する事ができた。今後も継続した実施と実施箇所の検討が必要。	道路行政として実施できる取り組み、関係機関との協働で行う取り組みなどを整理し、活動を推進する。また、代表者会議との情報共有・連携強化を推進する。	10
		草刈・樹木の剪定・間引き・枝払い	美瑛町美馬牛：10～12月	旭川開発建設部旭川道路事務所	除草・自然木の剪定・枝払いにより、良好な沿道環境を形成する事ができた。今後も継続した実施と実施箇所の検討が必要。		11
		草刈・樹木の剪定・間引き・枝払い	上富良野町草分：通年	旭川開発建設部富良野道路事務所	除草・植樹の剪定・枝払いにより、良好な沿道環境を形成する事ができた。今後も継続した実施と実施箇所の検討が必要。		12
		草刈・樹木の剪定・間引き・枝払い	上富良野町日の出：通年	旭川開発建設部富良野道路事務所	除草・植樹の剪定・枝払いにより、良好な沿道環境を形成する事ができた。今後も継続した実施と実施箇所の検討が必要。		13
		草刈・樹木の剪定・間引き・枝払い	上富良野町島津：通年	旭川開発建設部富良野道路事務所	除草・植樹の剪定・枝払いにより、良好な沿道環境を形成する事ができた。今後も継続した実施と実施箇所の検討が必要。		14
		道路付属物の集約・配置替え	上富良野町豊郷：9月	旭川開発建設部富良野道路事務所	ルート内の景観に配慮し、付属物・標識の集約、設置数の改善を実施。今後も継続した検討と実施が必要。		15
		道路付属物の集約・配置替え	上富良野町共進：9月	旭川開発建設部富良野道路事務所	ルート内の景観に配慮し、付属物・標識の集約、設置数の改善を実施。今後も継続した検討と実施が必要。		16
	波状丘陵地の田園景観を保全する	ゴミゼロキャンペーンへのゴミ袋や火ばさみ、ゴミ処理の支援、活動への参加	西神楽： 4月25日（土）10:00～12:00	旭川開発建設部・旭川市・北海道運輸局	ゴミゼロキャンペーンへの協力として、ゴミ袋の提供や火ばさみの貸し出し、ゴミの処理を実施。清掃活動への職員の参加を行った。 ゴミゼロキャンペーンへの総参加人数は、200人を超える取り組みとなった。さらに広域への展開を検討し、地域と連携し取り組みを推進する。	地域への支援を継続的に行うい、充実できる部分についても検討する。また、関係機関との連携を強化し、広がりと持たせるように工夫する。	17
		ゴミゼロキャンペーンへのゴミ袋や火ばさみ、ゴミ処理の支援、活動への参加	旭川空港周辺： 4月26日（）10:00～12:00	旭川土木現業所・東川町			18
		ゴミゼロキャンペーンへのゴミ袋や火ばさみ、ゴミ処理の支援、活動への参加	上富良野町： 5月10日（日）10:00～12:00	旭川開発建設部・上富良野町・北海道運輸局			19
	花人街道としての景観を整える	花の植栽活動への苗の提供などの支援	5月～6月	旭川開発建設部・東川町・上富良野町	沿道の花植栽への協力として、花の苗などの提供、活動への参加を行った。花植栽により、良好な沿道環境を保つことが出来、来訪者からも好評であった。今後は、地域との連携を強化し、継続した取り組みに向けての検討などを行う。	支援の継続を検討・実施するとともに、活動団体同士・ルートに参加していない花の植栽を行っている活動団体への情報共有などを行い、ルート活動の推進を行う。	20

種類	方針	平成21年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
地域づくり	活力ある地域づくり	ウィンターサーカスのランドアート制作協力	2月6日（土）～7日（日）　17:00～20;00	旭川開発建設部・上川支庁・旭川市・美瑛町・上富良野町	ウィンターサーカスへの協力として、ランドアートに使用する雪の提供や会場周辺の除雪などの支援を行い、スムーズに活動を実施することが出来た	協力機関や参加団体が増えていることもあり、意志統一・情報共有が課題となっている部分もある。支援については継続的に行えるように検討するとともに、全体としての仕組みづくりを推進する。	21
		ウィンターサーカスと連携した雪の授業への協力	2月6日（土）～7日（日）　17:00～20;00	旭川開発建設部・上川支庁・旭川市・上富良野町	雪の授業として取り組みへの参加や関係への調整等を行うことで、地域イベントへより多くの方が、参加することが出来た。		22
	コリドーとしての連携や参加意識の醸成	フォトコンテストのパネル展開催協力	6月～8月	旭川開発建設部・東神楽町	フォトコンテストの入選作品展を、旭川合同庁舎と東川町のコミュニティ施設で実施。多くの方に、フォトコンテストをPRすることが出来た。	広く様々な方が参加できるように、情報発信を強化する。	23
	農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	ウィンターサーカスへのプロジェクター貸し出しなどの支援	2月6日（土）～7日（日）　17:00～20;00	旭川開発建設部・上川支庁・旭川市・美瑛町・上富良野町	雪のランドアートの投影するプロジェクターなどの貸し出しを行った。プロジェクターの貸し出しやイベントへの参加など、できる範囲の支援を行うことで連携体制が強化された。	地域の連携がより多様になるように、情報共有と連携推進に努める。	24
	地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進					具体的な取り組み展開が出来なかったが、今後は、地域と連携し、具体の取り組みを展開する。	25
	ユニバーサルデザインの推進	ルートで作成されたバリアフリーマップを行政連絡会議で配布	9月30日（水）	旭川開発建設部・上川支庁・旭川市・富良野市・東川町・東神楽町・美瑛町・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村	ルートで作成したバリアフリーマップを行政連絡会議で配布し情報提供を行った。配布先の市町村から、さらに配布先の拡大となるよう繋げたい。	バリアフリーマップの普及に向けて、道の駅などの関係機関に配布を行った。これにより、地域の倍亜フリー状況を共有することが出来た。今後は具体の取り組み典型についても地域と協働で検討する。	26
観光振興	田園型リラクゼーション観光の充実					具体的な取り組み展開が出来なかったが、今後は、地域と連携し、具体の取り組みを展開する。	27
	農業と連携した観光のしくみづくり					具体的な取り組み展開が出来なかったが、今後は、地域と連携し、具体の取り組みを展開する。	28
	シーニック・ランドオペレーション機能の充実	情報拠点にパンフレットを提供	通年	旭川開発建設部・上川支庁・旭川市・富良野市・東川町・東神楽町・美瑛町・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村	情報拠点にて大雪・富良野ルートに関係する観光パンフレットを配布するために、情報拠点4箇所に関係市町村等のパンフレットを収集し提供した。各情報拠点では、ルート内各地のパンフレットを扱うことで、広域の観光案内を実施することが出来た。	地域活動については連携・協働・支援を実施するとともに、地域の中枢機関である法人について、ルート自立に向けての協力のあり方を検討する。情報発信についても、地域と協働でより充実した内容を求めて、取り組みを推進する。	29

種類	方針	平成21年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
観光振興	シーニック・ランドオペレーション機能の充実	管内道の駅にルート発行パンフレットを提供	通年	旭川開発建設部・旭川土木現業所・旭川市・東川町・美瑛町・南富良野町・占冠村・当麻町・剣淵町・名寄市・美深町・音威子府村・中川町	ルート発行の各種パンフレットを各道の駅に提供し、ルートの取組や近隣観光情報を道の駅利用者に周知PRすることが出来た。	地域活動については連携・協働・支援を実施するとともに、地域の中枢機関である法人について、ルート自立に向けての協力のあり方を検討する。情報発信についても、地域と協働でより充実した内容を求めて、取り組みを推進する。	30
		道路情報板を活用したルートPR	通年	旭川開発建設部	道路情報板にシーニックバイウェイ及びルート名を表示。道路利用者の不特定多数にシーニックバイウェイ及びルートのPRを行うこと出来た。		31
		ルートHPへのリンクを実施	通年	旭川開発建設部・旭川土木現業所・旭川市・富良野市・東神楽町・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠ラム	ルートのホームページへのリンクを、各機関のホームページに掲載。ルートのホームページPRに協力した。		32

５．平成20年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称：大雪・富良野ルート	報告者：代表　山崎 博幸	報告年月：平成22年4月7日

平成20年度活動報告への助言	平成21年度　状況報告	備考
・地域へのルート活動の更なる浸透や、人材育成の取組の充実を期待する。	ルート活動の浸透としては、「ウィンターサーカス」をきっかけに、ネクスコ東日本との連携をはじめ、今年度は、占冠村及び占冠村観光協会、アルファリゾート・トマムと連携し、トマムにてウィンターサーカスを展開することが出来た。また、支援センター発行の「Byway」にて、東川町旭岳温泉や占冠・南富良野を特集することで、今まで活動や連携が薄い地域・団体との関係を築くきっかけとなった。 連年より継続している沿道の清掃活動「ゴミゼロ」や「花植栽」については、参加人数も安定し、毎年多くの方が参加し、ルートの取り組みとしての「ゴミゼロ」「花植栽」を実施ししている。 具体的な取り組みを通して、ルート活動に参加する人が増加し、人材についても育成されることを期待している。	

ルート名称：大雪・富良野ルート	報告者：旭川開発建設部	報告年月：平成22年4月7日

平成20年度活動報告への助言	平成21年度　状況報告	備考
・地域へのルート活動の更なる浸透や、人材育成の取組の充実を期待する。	支援としてルート自立に向けて、地域活動に関する助成事業・補助金に関する情報提供や申請書作成時の指導・アドバイスを地域団体及びルート法人に昨年度に続き行った。これにより、ウィンターサーカスをはじめ、情報拠点などの取り組みの活動資金獲得することが出来、活動が推進できている。地域に助成事業や補助金の情報提供を継続的に行うことで、昨年度より地域団体の意識が向上し、自らが応募申請を行いようになりつつある。ルートに関わる多くに方に、活動や資金獲得のノウハウが蓄積できるように、地域団体同士の交流・情報共有以外にも、専門家を招いての勉強会など、地域のニーズ・成長に合わせて、プログラムを組むことが重要であり、今後はルート自立・人材育成に向けてのルート独自のプログラムづくりを行う。	